

<ニコニコ委員会>

山崎委員

第2590地区ガバナー 金子大様→「本年度ガバナーを拝命いたしました横浜中ロータリークラブの金子大(かねこゆたか)でございます。本日はお世話になります。貴クラブの皆様のご指導とご協力をいただきながら、クラブの可能性を上げていくために努力する所存です。どうぞよろしくお願ひいたします」。

第3グループガバナー補佐 大友憲子様→「本日は金子ガバナー公式訪問です。宜しくお願ひ致します」。

地区副幹事 吉田裕一郎様→「こんにちは。今日はよろしくお願ひします。今年度一年間よろしくお願ひ致します」。パスト会長 横浜中RC 服部範二様→「久しぶりにお邪魔します」。横浜中RC 大槻忠福様→「こんにちは。本日はお邪魔させていただきます。宜しくお願ひします」。横浜中RC 窪倉保様→「本日は、金子大ガバナーの随行で伺いました。宜しくお願ひ致します」。当クラブより、井上久会長→「金子ガバナー、大友ガバナー補佐はじめ多くのお客様ようこそおいで下さいました。今日はよろしくお願ひ致します」。嶋幹事→「金子ガバナー、大友ガバナー補佐ようこそ。本日は公式訪問よろしくお願ひいたします」。大矢会員→「金子ガバナー、本日はよろしく。服部さんようこそ」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、安藤美恵子会員、安藤亨会員、福家会員、井上勇会員、鴨志田会員、金子会員、北島会員、小林会員、小塚会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、親松会員、尾崎会員、鈴木清会員、渡邊会員、結城会員、山崎会員。

<出席委員会>

福家委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1922回	41	30	11		73.17%
第1921回	41	41	0		100%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	29件	43,000円	213件	280,951円
財団	0件	0円	4件	51,000円
ベネファクター	1件	112,000円	1件	112,000円
米山	1件	20,000円	6件	90,000円

<ロータリー財団委員会>

渡邊委員長

井上久会長→「ガバナー来訪を記念して」。

<米山奨学委員会>

尾崎委員

北島会員→「奥さんに、きれいなお花をありがとうございました」。

本日のプログラム

第2590地区第3グループガバナー補佐 大友憲子様よりガバナーのご紹介

毎週お邪魔しております。先週は納涼会で楽しく過



ごさせて頂きました。金子ガバナーは1946年8月1日のお生まれです。学校法人横浜学院の理事長であり学院長先生であります。ロータリー歴は1985年12月に横浜西RCに入会され1989年6月に退会されました。2000年11月に再び現在の横浜中RCに入会されました。2009-10年に会長をつとめられその後地区の役員をされております。2016-17年度に第6グループのガバナー補佐をされました。ご出身は保土ヶ谷で現在は鎌倉にお住まいです。家族構成は奥様とお嬢様お二人と息子さんがお一人です。ご趣味は車です。甘いものがお好きで特にチョコレートパフェが大好きです。性格は人の話をよく聞いて下さり、穏やかで温和で真面目で純粋に心からロータリーを愛していると感じられる方です。

<ガバナー公式訪問卓話>

第2590地区ガバナー 金子大様



皆さんこんにちは。過分のご紹介を受けて何を喋っていかかわからなくなってしまいました。申し訳ございません。井上久会長は幼稚園の園長を退任なさってご子息に譲られて、決意を持ってロータリークラブの会長になられたという会報を読み、私の決意は甘かったかもしれないと反省したところであり

ます。今日は今の地区の状況についてお話させて頂ければと思っております。至らない点もあるかと思いますが服部先生が補佐して下さるので安心してお話できるかと思っております。

「インスピレーションになろう」とRIの会長が発表され皆さんも会長のメッセージについては熟知されていると



思います。私たちの地区では「それぞれが輝くロータリー 自らの行動でクラブの可能性を上げよう」ということで第2590地区のテーマを発表させて頂きました。現在の状況は皆さんご存知の通り、毎年のように拡大増強ということで会員の増強をお願いして参りました。地区のこの20年間の会員の推移は、20年前は会員数が3,500名ほどでした。現在は2,041名です。7月1日現在は2,019名、56クラブで私が引き継がせて頂きました。

服部委員長とともに私たちが財務をお預かりした時には2,080名の会員がいました。予算は2,080名で組んでおりましたので2,019名となると予算が足らず財務委員長には苦勞をかけ会費を値上げしない限りこの地区は運営できないという状況の中で予算を組み、それでも値上げはしないということで計画を立てさせて頂きました。忍耐強い服部先生も限界であったと思っておりますがその中で地区研修協議会を開催し地区研修協議会のあり方から変えさせて頂きました。会員数2,019名ということは1クラブの平均人数は36名となります。36名という人数で健全なクラブ経営ができるようにすることが必要なのではないか、そうでないと半数以上のクラブがクラブ運営に苦慮されるのではないかとということになります。地区協議会におかれましても1回16名~17名の委員に研修に参加してもらわねばならないということになります。費用もかかります。健全にクラブを運営するためには36名でうまく回るようにと考えることが必要とのことで12部門あった地区協議研修会を8部門に減らしました。8部門減ると4人少なくて済みます。会の進行の方法もスケジュールも変えさせて頂き食事会をやめたので、変更によって皆さんにはご負担をおかけしました。そのようにして新年度がスタートした

わけですが、ロータリーは単年度制ですので新たな活動計画などは進行しているわけです。会長さんや幹事さん、関係する皆さんにご心勞をおかけしました。決まっていた予定の中で基盤管理部門の委員会をまとめさせて頂きました。担当の委員会の委員長さん、戦略委員会や研修委員会やクラブ奉仕委員会、広報公共イメージ委員会、雑誌委員会それぞれの委員会の皆様には委員会も計画も進んでいる中大変申し訳ないのですが、研修会をまとめさせて頂くということでパート1、パート2に分けさせて頂きました。拡大の部分も計画を立て講師を呼び今年の拡大に対する計画は進んでいたのですがそこも合体させて頂きました。その理由は皆さんご存知のようにクラブの簡素化とスリム化です。2016年に規定審議会の大きな変更がありました。変更から2年が経ち最初の2016年に規定審議会で変更があった部分の対策として戦略委員会ができて、各クラブの皆さんがクラブの運営をしやすくするにはどうしたらいいかということでその年のテーマ、地区の戦略委員会の目標は「クラブの簡素化とスリム化」ということになりました。それ以外にも多くの課題がたくさん上がって、その年に高良ガバナーが皆さんにアンケートを取りビジョンや目的の調査をさせて頂きその中からどれをどのようにしたらクラブがスムーズに運営できるようになるか2年かけて地区の戦略委員会のメンバーが戦略を練りました。その結果第5グループのグループ再編が進行しました。今年度私がガバナーをつとめこの2年の議論を行動に移さねばならない年となりました。まずやらねばならないことは「簡素化とスリム化」ということで議論してきましたがクラブの組織が変更ということになるとCLP、地区の組織についてはDLPということでリーダーシッププランというものがありませんが簡素化、スリム化、経費の節減のためにCLP、DLPはあってはいけないと言われてます。そういう部分をうまく回るようにしなければなりません。 私たちが第一に考えねばならないことにおいて増強は避けて通れません。もっと大切なことは例会のあり方や親睦のあり方、皆さんが仲良く友情を深め皆さんのそれぞれの仕事やロータリーやそれぞれがそれぞれの場所で輝いていなければなりません。「インスピレーションになろう」というRI会長のテーマがあるわけですがそれぞれがご

自分の地域で輝く、それぞれがそれぞれの持ち場で輝くということが必要なのではないかと考えています。先ほど56クラブと話しましたが、第一回目の基盤管理パート1の会の時に、実はあるクラブが今年いっぱい解散するということを発表しました。さらにもう2つのクラブが合併を視野に入れているとのこと。これが実現しますとまたクラブが減ることとなり芋づる式に不の連鎖になっていってしまいます。どこかで歯止めをかけなくてはなりません。それには皆さんのクラブがそれぞれ活発に柔軟性や多様性を持って活動するのが一番いいと思います。そこで増強と同様に重要なのが少し今忘れかけているかもしれないクラブ奉仕部門、クラブ運営部門で例会を大切に親睦やクラブ運営をもう一度見直してきちんとロータリーの原点を見つめて新しいこれからの時代を担ってくれる人を育てる素地を固めていかねばならないのではないかと考えています。その第一歩を踏み出すために様々な改革、模索をし皆さんのご意見を聞きながら新しい方向性を皆さんに示していきたいと思っています。それから先は各クラブがそれぞれの地域性や職業分類や特色を生かしたクラブ作りを、クラブ細則を作って頂けれ

ばと思っています。

最後になりますが皆さんに西日本豪雨災害の募金をお願いをしました。どこにどのように寄付するか伝えずに寄付をお願いしたことをここでお詫び申し上げたいと思います。早く募金を集めて下さいと要望がありなおかつロータリーの皆さんご存知のように今度の豪雨は12県にまたがった大規模なものとなっています。仲間の工場や施設も被害にあっています。そこできちんと寄付が渡せるように考えてほしいという要望もありガバナーの全国会を通して災害の状況を調査しています。それによってどのように寄付を使うかお知らせさせて頂きます。それでお許しを頂きたいと思います。皆様には何も詳しいことをお伝えしなかったにもかかわらずたくさんの寄付を頂きましたことに厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

この一年間皆様のお言葉を頼りに新しいロータリーの方角を示すことができたらと思っています。よろしく申し上げます。

<点鐘>

井上久会長

